

笑顔で介護が続けられるために

大田病院介護保険室 土居 恵 孝



料が払えないと償還払いなどの厳しいペナルティが課せられます。私たちに「葬式代も残らない」との悲鳴が寄せられたこともあります。

思いやる相手を間違えないで

来年はその介護報酬が見直されます。財務省は、①要支援から要介護2まで介護保険から排除する、②要支援から介護2まで生活援助(ヘルパー)を利用を介護保険からはずす、③要支援から要介護2までを2割負担とする(現在1割)との試算を提示しました。

一般労働者の6割にも満たない賃金

07年度介護職員の離職率は21.6%。全産業平均が16.2%ですからきわめて深刻です。

お金がないのが現状 肢がないのが現状

「やっぱりお金ですよ」私が職場のケアマネジャーたちに「介護される方、介護する方が最も大変なこと？」と問いかけた時の答えです。

目曜日の朝刊のチラシには介護職員募集が常に載っています。

「やりのいはあるけどきつくて給料が安い」と介護現場から去っていく若者も多いのです。

「思いやる」相手間違っているのです。ここに究極の選択に「ア」と言える根拠があると思えます。



労働者との交渉を行いました。これは介護報酬の引き上げと利用料の軽減を国の負担によって行うよ求めたものです。

アスベスト被災対策大田連絡会が「集い」開催

とどろくみの成果が着実に前進



去る9月20日、「アスベスト問題のこれからを考える集い」が大森南地域の前の浦集会所で開かれました。アスベストの被害の深刻さが「クボタショック」として全国を騒がせたときに、2006年9月20日に大田区内の労働組合、医療団体、法律事務所などの協力で「大田連絡会」が結成されました。



「集い」では、いままでにNHKで放映された連絡会の活動の映像が映し出され、とどろくみの到達点が報じられました。

前進座からのお知らせ

前進座公演『くず〜い 屑屋でござい』

12月15日(月) 下丸子・大田区民プラザ 大ホール 開演時間(2回) 昼の部 14:00 夜の部 19:00 料金(全席指定席) 前売券 大人 3,500円 子ども 2,000円



主催：大田区「くず〜い 屑屋でござい」を観る会 問合せ：観る会事務局 090-4706-5583 前進座東京営業部 0422-49-2811



アスベスト問題のこれからを考える集い 大田区民プラザ 大ホール 2008年9月20日 大田区民プラザ 大ホール

腺八分

かつて昭和30年代位までは「夜なべ仕事」こんな言葉で現される家内労働が一般的でした。

出発点で、これからも一層関心を強めていなければならぬ。農村から離れた都市部に。来年度の環境省の予算案の中で大田区を「アスベスト健康リスク調査対象地域」として助成する方向が示されている。農村の夜なべ仕事と比べて内職と呼んたりもしていました。農村だって都市だって、お年寄りも子ども、すっかり開わりある家族が総力をあげる労働でした。▼やがて昭和の30年代を迎えると、オートメーションと呼ばれる機械化の時代を迎えました。大量生産、大量消費の時代の到来です。農村でも家庭でも、それまでのきつい長時間の家内労働から解放されました。そしていつか、かつてのきびしい生活と比較して、中流という幻想まで世の中に広がり、それと引きかえに、人々は郷里の里山、自然を代償にしています。昭和30年代の経済成長に等しい発展を近隣の諸外国が遂げようとしています。当然競争も生じます。農村や自然を破壊した日本は、自らの延命に人間を破壊する方向にすすんでしまいました。新自由主義、規制緩和のもとに政府は弱者の切り捨てを政策の中心課題に据えました。「格差社会」の出現です。後期高齢者医療制度の導入によるお年寄りのため、非正規雇用で若者の夢を奪い、全国で何百万人もいわれる内職労働者が、さらに増えています。その現実を見ると、政治の中身が見えてきます。